

**都 々 逸**

切れる心は さらさらないのに 切れたふりする 身のつらさ  
 谷のせせらぎ河鹿の声が 夢になりそな 遠出宿  
 胸の曇りもいつしか晴れに 空に涼しい 月ひとつ  
 楽は望まぬ苦勞は承知 苦勞しがいのあるように

**江戸こぼなし** 【錦を飾る】

何年ぶりかで田舎に帰ることになった乞食が、旅支度を調べて旅立とうとしているところに、仲間の乞食がやって来て、「新品の花ござなんか引っ被って、どこへ行くのだ？」と声をかけるので、「久しぶりに田舎に帰るのさ」と言うと、「そんな薄っぺらな花ござ一枚では寒かろう。俺の着ているこの薦を餞別にやるから着て行きな」と言って、着ている薦を脱ごうとするので、「冗談じゃねえ。そんな薄汚れた薦など引っ被って帰ったんじゃあ、故郷に錦を飾ることにはなりやしねえ。

**落語豆知識** 【落語の用語】

穴……………つぎの出演者が間に合わずに演芸がとぎれること。  
 見台……………上方落語で噺家が使うこぶりの前机のこと。  
 ダルマ……………符牒で、羽織のこと。

**歴史への招待** 【徒然草】

うらべ

作者は吉田兼好(本名・卜部兼好)南北朝時代の歌人。18才の時六位の蔵人として、朝廷に6年の間出仕した。徒然草は、兼好の美意識に基づいて、花鳥風月、春夏秋冬、恋、無常のあわれ等にふれ、人はどう生きていくかを問うている随筆である。

(7段)あだし野露は朝日にあたって、消えやすく鳥辺山の茶毘の煙もたちまち消えてしまうが、もし、この露や煙がまったく消えないようであればこの世はどうなってしまうだろう。

※ 兼好のおおらかな人間観賞の目、一方において醒めた眼をもった兼好ならではの表現の一節である。

**数学の時間**

時速18キロで進んでいる船が、正面の大きな崖に向かって、汽笛を鳴らしました。4秒後に、その汽笛のこだまが返ってきました。汽笛を鳴らした時、崖との間は何メートル離れていたのでしょうか。ただし音速は毎秒340メートルとします。

**数学の時間・・・答え** 42号の答え……………19,606

## 江戸のことわざ 【一富士二鷹三茄子】

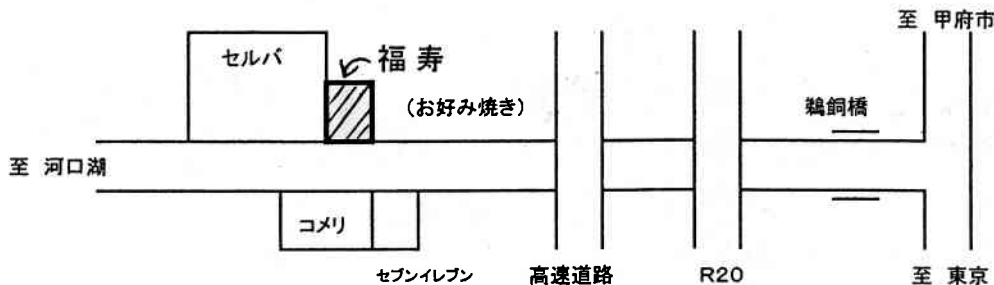
初夢にみると縁起がよいものを並べたものである。「富士山」と「鷹」はなんとなくわかるが、「茄子」はピンとこない。徳川家とゆかりの深い駿河の名物をあげたとする説がある。ところで夢には神のお告げがこめられていて、江戸時代には初夢によって一年の良しあしが見極められると信じられていた。

## つまらない話

- 1 出前が遅いので、催促すると、「さっき出ました」届に来た人は電話の声と同じ人だった。
- 2 乗馬でダイエットに励んだら、馬が先に痩せた。
- 3 織田信長と武田勝頼が《……》で戦った。の問題に……“必死”と答えた生徒がいた。
- 4 予備校の広告で、全国から優秀な生徒が集まります。と、あった。ほんとだろうか？
- 5 野球のアナウンスを聞いていると、今のは、“気力”で打ちましたね！と言っている。  
あれは、絶対“バット”で打ったと思う。

## おいしい“お好み焼き”のお店 【山梨県 笛吹市 編】

※人気メニューは牛すじうどん、焼きそばの麺は富士宮のもの(月休み)



## 経済の時間 【外貨準備高】

政府や日銀が保有する外貨や金の残高のこと。主要各国の通貨のほか、金やSDRなどがその中に含まれる。

民間が保有する外貨では、輸入代金の決済などの支払いに不足が生じる場合などに備えて国が外貨を保有している。外貨準備高は、貿易黒字が増えるほど増加し、貿易赤字が増えると減少する。日銀が円高対策として、円売り・ドル買い介入を行うと、外貨準備高が増加する。

## サラリーマン川柳

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1 棚ぼたは いつも隣に 落ちてくる  | 4 毎日が、なんじゃこれかと 聞くニュース |
| 2 なぜ出さぬ 呑んでる時の あの元気 | 5 入歯見て 目もはずしてと せがむ孫   |
| 3 ついて来い 後ろを見れば 我一人  | 6 その根気 仕事に生かせ ストーカー   |

## お知らせ

お読み戴いています『かわらばん ナカニワ』そして他にも少々……  
当社ホームページに載っております。是非ご覧下さい。

<http://www.nakaniwa-cons.co.jp>